

富士会ニュース

ISO 事務局

2018年9月

No.4

● 事故傾向とは

一生のうちに交通事故を起こす確率は、どのくらいでしょうか？生涯1度も事故を起こさない人もいれば、10回以上事故を起こす人もいます。この違いは何故でしょうか？事故を起こしやすい人の性格・特徴・傾向は以下のとおり。交通心理学上の統計です。

① 感情の起伏が激しい

気分が安定せずムラがあり、沈んだ状態にあると物事を考える事が面倒になる。気分が高揚している時は乱暴な運転になりがち。

② せっかちで怒りっぽい

早とちりや思い込み運転を起こしやすく、十分な安全確認を怠りがち。

③ 些細な事を気にする、又は過緊張

心配事や気になることがあると運転に集中できない。

④ 几帳面に欠けている、注意散漫

物事を着実にやる事が欠けている。車の点検や車内の整理整頓をしないため事故に繋がるケースも。

⑤ 余裕がない、焦りやすい

車の運転操作で心が一杯になり、車外の状況の確認が不十分。

介護現場の事故でも共通点がある様に感じます。誰でも欠点はある、スキルも一様ではありません。向き不向きもあるでしょう。しかし、メンタルコントロールができる人は事故を起こしづらい傾向にあるのではないのでしょうか。メンタルコントロールで即効的な効果があるのは深呼吸です。だから「介助の前に一呼吸」。

● シリーズ 他山の石

岐阜県の介護老人保健施設で介護職員が入所者を虐待し怪我をさせたとして、施設を運営する医療法人に介護保険法（人権尊重義務）違反で、許可の1部効力停止（3ヶ月）処分を行った。同施設は10月1日から3ヶ月、新規入所者を受け入れできないほか、介護報酬請求が3割削減される。暴行した職員は逮捕、略式起訴された。

※ 他山の石・・・他人の誤った言行も自分の行いの参考となる事。